

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2006-155755 (P2006-155755A)

【公開日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【年通号数】公開・登録公報 2006-023

【出願番号】特願 2004-345083 (P2004-345083)

【国際特許分類】

G 1 1 B 25/04 (2006.01)

G 1 1 B 17/056 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 25/04 1 0 1 W

G 1 1 B 17/04 3 1 5 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学ヘッドを用いて回転するディスクに情報を記録又はディスクに記録された情報を再生するディスク駆動装置において、

ディスクを搬送するディスクトレイのディスク載置案内用円溝の外周部の段差部の一部で、フロントパネルを前面とした場合の右奥部の段差部を前記円溝底面に対してディスク下面の高さ以下の段差としたことを特徴とするディスク駆動装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載のディスク駆動装置において、前記円溝底面とディスク下面の高さ以下の段差としたディスクトレイ隅部に隣接する装置筐体の隅部を、筐体内部側に曲率を持たせた隅構造あるいは複数の鈍角により形成された隅構造としたことを特徴とするディスク駆動装置。

【請求項 3】

請求項 2 記載のディスク駆動装置において、前記隅構造は、ガイドラック部に曲率部材を備えて構成したことを特徴とするディスク駆動装置。

【請求項 4】

請求項 2 記載のディスク駆動装置において、前記隅構造は、装置筐体部となるボトムカバーあるいはトップカバーの一部に別部材となる曲率部材を備えて構成したことを特徴とするディスク駆動装置。

【請求項 5】

請求項 1 記載のディスク駆動装置において、円溝底面に対してディスク下面の高さ以下の段差としたディスクトレイ隅部に隣接する装置筐体の隅部を、ボトムカバーあるいはトップカバー自体で曲率を形成した構造としたことを特徴とするディスク駆動装置。

【請求項 6】

光学ヘッドを用いて回転するディスクに情報を記録又はディスクに記録された情報を再生するディスク駆動装置において、

ディスクを搬送するディスクトレイのディスク載置案内用円溝の外周部とガイドラックを介して装置筐体となるボトムカバーあるいはトップカバー間の空孔部に、流れ抑制部

材を備えたことを特徴とするディスク駆動装置。